

平成元年
1月15日
第1142号

にいがた



市の人口 (11月末現在)	
人口	474,463 人
男	230,459 人
女	244,004 人
世帯数	158,263 世帯

発行日 毎週日曜日 発行所 新潟市役所 〒951 西堀通6-865 編集 企画部広報課 印刷 印刷部第一印刷所

新潟市の「木」「花」に ヤナギとチューリップ

4月1日制定へ



市制100周年を迎え、市では新たに「市の木」「市の花」の制定を進めています。市緑化審議委員会から昨年十月に審議があった候補の中から、市の木としての花にはそれぞれ「ヤナギ」と「チューリップ」とすることをこのほど決定。制定は四月一日で、選ばれたヤナギ、チューリップは街路や公園、家庭などで植栽され、新潟市の緑化推進のシンボルとなります。

市の木・花は昨年六月に市には「ヤナギ」を、市の花に「チューリップ」を選定を進め、市民から募集、緑化審議委員会は「ヤナギ」と「チューリップ」を選定しました。

市の木には「ヤナギ」「マツ」

「ケヤキ」、市の花は「チューリップ」「ハマナギ」

「ツツジ」と、それぞれ

三種類ずつ候補として決定

市長に審議して決定

市の木・花として複数の制

定しているのは全国的に少

ないことや、シンボルとして

一種類が好ましいことから

市では、審議の中から市の

木として、また、育てやすいこ

とから学校、保育園、家庭な

どで広く飾られる、多くの市民

から愛されていることが市の

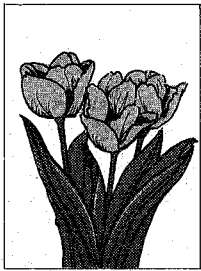
花への制定理由です。

今年市制100周年を記念して制定される市の木「ヤナギ」と市の花「チューリップ」は、街路樹として、また公園や学校、一般家庭で植栽が進められ、緑豊かな街のある街づくりへ、緑化推進のシンボル的な存在となります。

なお、「ヤナギ」「チューリップ」と応募された方の中から抽選で百人に記念品を贈ります。当選者へは後日、受け取り場所などを連絡します。問い合わせは「公園緑地課」(内線42番)へ

市制100周年を迎え、市では新たに「市の木」「市の花」の制定を進めています。市緑化審議委員会から昨年十月に審議があった候補の中から、市の木としての花にはそれぞれ「ヤナギ」と「チューリップ」とすることをこのほど決定。制定は四月一日で、選ばれたヤナギ、チューリップは街路や公園、家庭などで植栽され、新潟市の緑化推進のシンボルとなります。

市の花



市の木

市漁業協同組合 中央卸売市場

初セリ 類

今年初めてのセリ、初物が五日早朝、市漁協地方卸売市場、中央卸売市場でそれぞれ行われ、若杉市長も宝船のセリに加わりました。

イチゴや洋ナシなどの果物やなべ物用の野菜など、県内各地の特産品が積み込まれた宝船が、けて威勢のいいセリ声が響き渡りました。



タイ、サザエ、伊勢エビなどを満載した宝船が次から次へとセリ落とされました



発行 にいがた 冬号 Vol. 34

特集 わくわく。どきどき。 不思議な話ほほほ。

第1話 エカガルの怪
第2話 幽霊山
第3話 海神のたざ
第4話 こんと人相
第5話 雷に降った
第6話 猫舌おぼし

お求めは、市役所・地区事務所・連絡所・市内の書店へ

12月定例市議会
青山火葬場改築など
請願、陳情を採択

とから学校、保育園、家庭などで広く飾られる、多くの市民から愛されていることが市の花への制定理由です。今年市制100周年を記念して制定される市の木「ヤナギ」と市の花「チューリップ」は、街路樹として、また公園や学校、一般家庭で植栽が進められ、緑豊かな街のある街づくりへ、緑化推進のシンボル的な存在となります。

老人医療受給者証 今月中に郵送

市では、今年三月三十一日以前有効期限が切れる老人医療受給者証をお持ちの方へ、新しい老人医療受給者証と「保険証」を忘れずに提示して下さい。

お問い合わせ 保健衛生課医療者証係 内線582番・583番へ

市役所	教育委員会	228-1000
体育	課	229-6633
体育施設管理センター		266-8111
火災の場所を知りたいとき		224-1111
市民病	院	241-5151
市民センター		286-1034
市民センター		243-5311
山地区保健センター		286-4450
山屋野地区保健センター		285-2373
北地区保健センター		259-7332
西地区保健センター		266-6171
坂井地区保健センター		262-3405
坂井地区保健センター		260-3255
市医師会休日診療センター		231-4135
県立科医師会休日診療センター		283-3030
水道	局	266-8311

広報テレビ番組

1月15日(日) さわやか新潟 (BSN午前8時15分~同30分)「ボランティア通訳組織化へ~市民の国際交流を推進」
新潟市政ニュース (NST午前8時5分~同10分)「室内トレーニングでフレッシュ」
にいがた子どもの広場 (NT21午前10時55分~11時)「竹屋小学校、3学期もがんばるぞ」
1月21日(土) すこやか新潟 (TNN午前9時55分~10時)「日本型食生活のすすめ(1)~日本型食生活の基本と三つの密法」
1月22日(日) 新潟市政ニュース (NST午前8時5分~同10分)「はたちの誓い~成人の日のついで」
にいがた子どもの広場 (NT21午前10時55分~11時)「小瀬小学校、さいの神」

私の思い出 僕の夢 ②
昭和初期の
市内映画館事情

昭和十三年ごろ、市内の映画館は東宝、松竹、大竹、新興、宝塚の封鎖劇、再映館に映映新潟鏡沼垂の東宝、日劇とありました。入場料は前者が四十銭、後者が二十銭、子どもは半額で、封鎖劇の料金は大人の調製と足並みも同じでした。

夏は天井からつり下げた幅一辺くりのトンボ風扇が、二つ、冬はダクト風扇が、隅に一個か二個置かれて、冷たい暖房設備などはともにお粗末なものでしたが、雷園だけ土壘席があって、座布団と炭火の入った火鉢が希望者に用意され、冬の風物として今も残っているのがあるものです。

館内は、両側が男・女、中央が男席と区別、映画によって異なるのが、女席が空席、という時もありました。

現在はほとんど想像のつかぬほど風俗が激しい時代で、半裸の男が裸で、時折、警官が見回りに来て、入場者の番号や定員券が守られているか、取り締まられています。

斉藤 進さん (松浜5在住、74歳)